

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

| | | | | | | |
|-------------------|---|-------------|--------------------|-------------|-------------|-------------|
| 施設名称 | 〔17〕東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前 | | | | | |
| 指定管理者の名称 | 社会福祉法人東京援護協会 | 指定期間 | H26.4.1 ~ H31.3.31 | | | |
| 1. 指定管理者の概要 | | | | | | |
| (1)業務内容 | 老人福祉部門〔特別養護老人ホーム(3)、ケアハウス(1)、高齢者在宅サービスセンター(6)、居宅介護支援事業所(6)、地域包括支援センター(3)、訪問介護事業所(1)〕他 | | | | | |
| (2)類似施設の管理実績 | 特別養護老人ホーム2施設、ケアハウス1施設 | | | | | |
| (3)経営状況 | (25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入5,192,574,878円,歳出5,229,509,662円,収支差額 36,934,784円 | | | | | |
| 2. 施設の概要 | | | | | | |
| (1)所在地 | 台東区蔵前2-11-7 | | | | | |
| (2)設置目的 | 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。 | | | | | |
| (3)利用者 | 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 | | | | | |
| (4)開館日・時間 | 通年、24時間 | | | | | |
| (5)規模 | 延べ床面積 3,937㎡のうち3,363.41㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階：相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般）など | | | | | |
| (6)人員体制 | 35名 内訳...施設長(1)、事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤19、非常勤6)、看護職員(3)、介護支援専門員(1)、栄養士(1)機能訓練指導員(非常勤2) | | | | | |
| 3. 事業(サービス提供)の概要 | | | | | | |
| (1)委託事業 | 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等 | | | | | |
| (2)自主事業 | 空床利用型短期入所生活介護事業 | | | | | |
| 4. 予算決算の推移 | | | | | | |
| | | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 予算 | 委託料 | 59,125,846 | 57,301,950 | 57,757,830 | 58,805,465 | 55,879,465 |
| | 利用料金収入 | 212,048,000 | 216,086,000 | 211,669,000 | 214,622,000 | 219,879,000 |
| | その他収入 | 1,476,154 | 6,795,050 | 12,630,170 | 11,061,535 | 13,149,535 |
| | 管理経費 | 272,650,000 | 280,183,000 | 282,057,000 | 284,489,000 | 288,908,000 |
| 決算 | 委託料 | 59,073,800 | 57,295,735 | 57,689,865 | 58,792,865 | 55,866,865 |
| | 利用料金収入 | 219,556,568 | 213,083,738 | 212,917,799 | 217,175,220 | 219,847,565 |
| | その他収入 | 5,097,621 | 30,978,465 | 7,909,629 | 4,823,245 | 2,764,487 |
| | 管理経費 | 274,859,018 | 282,560,818 | 278,363,326 | 291,830,415 | 300,528,890 |
| | 収支 | 8,868,971 | 18,797,120 | 153,967 | -11,039,085 | -22,049,973 |
| 5. 施設の稼働状況等(活動指標) | | | | | | |
| 指標名称 | 単位 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | |
| 入所定員 | 人 | 50 | 50 | 50 | 50 | |
| 6. 成果指標 | | | | | | |
| 指標名称 | 単位 | 目標値(27年度) | 23年度 | 24年度 | 25年度 | |
| 利用率 | % | 99.0 | 95.9 | 96.5 | 98.3 | |
| 利用者数 | 人 | 18,070 | 17,555 | 17,614 | 17,940 | |

7 . 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

空床利用型短期入所生活介護事業が着実に成果を上げ、利用率の増加に結びついている。また、職種間で連携を行いながら、入所者全体の20%を目標に経管栄養の方の受け入れに取り組んでいる。同時に、経口摂取を継続するための取組みとして、毎月「内視鏡嚥下検査」を実施するなど、サービスの向上に努めている。

8 . 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

| 評価の観点 | 評 価 項 目 | | | |
|------------------------|-----------------|-----|-----------------|-----|
| (1)事業の運営 平均 [2.3] | (a)施設の目的達成 | [2] | (f)開館時間等の遵守 | [2] |
| | (b)サービス水準 | [3] | (g)自主事業の成果 | [3] |
| | (c)職員配置 | [2] | (h)個人情報保護 | [2] |
| | (d)職員研修 | [2] | (i)緊急時対応 | [3] |
| | (e)案内・接遇 | [2] | (j)警備・防犯体制 | [2] |
| (2)施設の維持管理 平均 [2.0] | (a)建物保守・設備機器点検 | [2] | (e)危険箇所等の確認 | [2] |
| | (b)備品の管理 | [2] | (f)管理記録の作成・保存 | [2] |
| | (c)清掃・衛生管理 | [2] | (g)業務委託の事前承認 | [2] |
| | (d)施設の修繕 | [2] | (h)省エネ・省資源・環境配慮 | [2] |
| (3)利用者の満足度 平均 [2.2] | (a)利用者・第三者機関の評価 | [2] | (d)利用しやすい環境整備 | [2] |
| | (b)苦情・要望への対応と報告 | [2] | (e)関係団体・地域との関わり | [2] |
| | (c)利用者数の目標達成 | [3] | | |
| (4)収入支出 平均 [2.0] | (a)適正な予算執行 | [2] | (c)収支計画の達成 | [2] |
| | (b)管理経費の効率化 | [2] | (d)利用料等の徴収・管理 | [2] |

9 . 評価
 S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

| 評価の観点 | 評 価 | 説 明 |
|------------|-----|---|
| (1)事業の運営 | S | 経口摂取を継続するための「内視鏡嚥下検査」や空床利用型短期入所生活介護事業を実施するなど、サービスの向上に努めている。浅草消防署の自衛消防コンクールでは、最優秀賞を受賞するなど、防災に対する意識も高い。 |
| (2)施設の維持管理 | A | 各種保守点検及び清掃・衛生管理については、全体的に適切に行われており、施設の老朽化に伴う不具合や故障についても、迅速な対応により安全確保に努めている。 |
| (3)利用者の満足度 | S | 満足度調査の結果は概ね良好であり、特に感染症に対する取り組みについて、家族から高い評価を得ている。効果的な空床利用や施設見学者の対応を積極的に行うことにより、利用率と利用者数は増加している。 |
| (4)収入支出 | A | 運営資金借入金の償還等に伴い、単年度収支ではマイナスを計上しているものの、前年度末の資金残高より補填されており、適切な予算管理がなされている。空床利用型短期入所生活介護事業の成果により、利用料金収入が増加している。 |

10 . 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

| | |
|-----------|--|
| 良好 | 医療依存度の高い利用者の受け入れや、経口摂取を継続するための取組みなど、サービス向上に努めるとともに、良好な管理運営が行われている。 |
|-----------|--|

11 . 平成26年度評価結果に対する今後の対応

引き続き、利用者サービスの向上のため、医療依存度の高い利用者の受け入れや感染症に対する取り組み、効果的な空床利用を図っていく。また、老朽化の進む建物管理を適切に行っていく必要がある。